

2023/4/25 (Tue.) 第142号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込5-19-2
 小林ビルデンス 603号室
 〒113-0021
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiiiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

松本吉郎日本医師連盟委員長、岸田文雄内閣総理大臣と面会

医療・介護従事者の賃上げ実現に向けて要望

松本吉郎日本医師連盟委員長は、岸田文雄内閣総理大臣に對して、光熱費・食料品等の価格高騰対策として、地方交付金に七千億円(推奨事業メニュー)の積み増しをいただいたことに対する御礼を述べたうえで、医療・介護従事者の賃金の引き上げについて、政府の方針にそい産業界で賃上げが進んでいること、医療・介護従事者約八百万人の処遇改善が喫緊の課題であること、公定価格により運営する医療機関等は、価格に転嫁することができず、賃上げには十分な原資が必要であることを説明した。

また、その他にも労働環境について、令和六年四月より医師の働き方改革の新制度が施行され、医師の時間外労働に上限規制が適用されること、各大学病院等から各地域の医療機関に派遣されていた医師が引きあげ、地域医療、とくに産科・救急に影響を及ぼすことが懸念されること、地域から産科・救急がなくなる、大きな社会問題に発展する恐れがあり、賃上げを含めた労働環境の改善により、地域における産科・救急医療機関が減らないような対応が必要であること、医師の働き方改革では「地域医療の継続性」と「医師の健康への配慮」の二つを両立することが重要であり、日本医師会はこれを推進していることを説明した。



加藤厚労大臣へ要望書手交 3月7日



加藤厚労大臣へ要望内容を説明 3月7日

松本吉郎委員長は4月11日、総理官邸を訪れ、岸田文雄首相と面会し、「医療・介護従事者の賃上げの実現」等に関して説明を行い、要望した。



総理官邸を訪問 4月11日

新型コロナウイルス感染症の 感染症法上の類型変更後における 財政支援を 加藤勝信厚生労働大臣に要望

松本吉郎日本医師連盟委員長は三月七日、釜沼敏常任執行委員と共に厚生労働省を訪れ、加藤勝信厚生労働大臣に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型変更後における財政支援を求める要望書を手交した。

具体的要望事項

- 一、次の感染症に備えるため、改正感染症法(令和六年四月一日施行分)に基づく、病床確保や発熱外来等の協定締結に至るまでの医療提供体制維持への支援
- 一、地域の発熱外来診療体制の維持・充実のための支援
- 一、緊急包括支援事業のうち病床確保料等の必要な事業の継続
- 一、地域医療介護総合確保基金による介護施設等のかかった経費等の支援策の継続
- 一、国民が医療機関にかかる際、検査や受診を受けない・受けられないといったことがないよう、高額な治療薬も含め、できるだけ国民負担がかからない支援
- 一、診療報酬上の特例の継続
- 一、医療機関が入院調整や健康観察を担うための新たな業務に対する診療報酬上の対応
- 一、介護保険施設をはじめ高齢者施設等に対する医療支援への対策
- 一、中小病院における要介護高齢者等の入院受入への対策

日本医師会はじめ、医療、介護の10団体で 加藤厚労大臣に光熱費等の物価高騰に 対する支援を要望



加藤厚労大臣へ要望書手交（左から6番目松本委員長）3月17日

松本吉郎日本医師連盟委員長は三月十七日、猪口雄二全日本病院協会長、加納繁照日本医療法人協会長、山崎學日本精神科病院協会長らと共に厚生労働省を訪れ、加藤勝信厚生労働大臣に「医療機関・介護事業所等における光熱費等の物価高騰に対する支援に関する要望」を手交した。

(1) 医療機関・介護事業所等
具体的な要望事項

が光熱費を含む医療と介護の提供に必要なコストの上昇に対応できるように、必要な財政措置を予備費の活用を含め早急に講じること

(2) 医療機関・介護事業所等が医療・介護従事者に対して物価高騰下においても適切に処遇を改善できるように、必要な財政措置を予備費の活用を含め早急に講じること

衆議院・参議院補欠選挙

松本委員長が各選挙区を訪問し激励

四月六日(木) 門博文(かどひろぶみ)事務所訪問(自民)

松本吉郎日本医師連盟委員長は四月六日、和歌山県医師連盟の平石英三委員長と共に衆議院和歌山県第一区選出議員補欠選挙候補者の門博文氏の事務所を訪れ必勝を祈願した。また、その後候補者本人にも直接会い激励した。

四月九日(日) 岸信千世(きしのぶちよ)事務所訪問(自民)

松本委員長は四月九日、山口県医師連盟の加藤智栄委員長と共に衆議院山口県第二区選出議員補欠選挙候補者の岸信千世氏



門事務所訪問 松本委員長・平石委員長 4月6日

の事務所を訪れ必勝を祈願した。また、候補者本人は遊説中のため、岸事務所内で有近まこと山口県議会議員に激励の挨拶をした。

四月九日(日) 吉田真次(よしだしんじ)事務所訪問(自民)

松本委員長は四月九日、山口県医師連盟の加藤委員長と下関市医師連盟役員と共に衆議院山口県第四区選出議員補欠選挙候補者の吉田真次氏の事務所を訪れ必勝を祈願し、候補者本人にも直接会い激励した。



門候補者本人へ激励(中央候補者) 4月6日

県医師連盟の河野幸治委員長と共に参議院大分県選出議員補欠



吉田事務所訪問 松本委員長・加藤委員長(中央候補者) 4月9日



岸事務所訪問 松本委員長・加藤委員長 4月9日

中のため、秘書に激励の挨拶をした。



白坂事務所訪問 松本委員長・河野委員長 4月9日



吉田事務所訪問 下関市医師連盟の皆さまと 4月9日

四月十日(月) エリアルフィヤ事務所訪問(自民)

松本委員長は四月十日、市川市医師連盟の伊藤勝仁委員長と羽生田たかし参議院議員と共に衆議院千葉県第五区選出議員補欠選挙候補者のえりアルフィヤ氏の事務所を訪れ必勝を祈願し、候補者本人に直接会い激励した。



えリアルフィヤ候補者と談笑 4月10日



えリアルフィヤ事務所訪問 松本委員長・伊藤委員長・羽生田参議員 4月10日

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



日本医師連盟松本吉郎委員長をはじめ、日医連の先生方には、日頃より格別の温かいご指導とご支援を賜り、誠に有難うございます。春爛漫の候、皆さま方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。一月から開会した第二十一回国会では、衆・参議院予算委員会での予算審議の積み重ねを経て、三月二十八日には与党賛成多数で令和五年度予算が可決、成立いたしました。統一地方選挙の応援と並行して、連日の常任委員会や特別委員会も中盤戦に差しかかり、法案審査や一般審議が日々活発に行われています。

私は、現在、内閣府大臣政務官を拝命しております。議員連盟の活動や政府の所管外に当たる自民党本部での会議の参加については継続して行っておりませんが、政府側として答弁に喚ばれる機会も多く、地方創生や新たな経済対策、こども政策や男女共同参画、沖縄・北方対策や拉致問題など担当が多岐にわたります。日々、政府内の政策立案などに参画させていただいております。

こども家庭庁について

いよいよ四月一日に「こども家庭庁」が発足し、「こども基本法」が施行されました。四月三日に岸田文雄内閣総理大臣、小倉将信内閣府特命担当大臣ご列席のもと、こどもたちも参加し、発足式が霞が関ビルの新庁舎で執り行われました。厚生労働省の子ども家庭局と社会・援

護局の障害児の部分、内閣府の子ども子育て本部が一体になりました。幼稚園教育要領と保育所保育指針が今後共同告示されること、重大ないじめ案件や自殺や事故等もこども家庭庁と文部科学省との共同になることから、役所は主として厚労省、文科省、内閣府、総務省、その他基礎

から政策を実施することが、同庁には求められます。また、自民党「こども・若者」輝く未来創造本部の提言を受けて、三月末には政府の次元の異なる少子化対策が示され、児童手当の拡充、所得制限の撤廃なども示されました。

自治体からの出向者や民間企業からの採用など、総勢四百三十名体制となりました。その所管する政策については、妊娠前後では、妊娠相談や妊産婦支援、産後ケアなど、乳幼児期では、地域子育て支援拠点、ファミリー・サポート・センター、認定こども園・保育所、母子保健などがあります。そして、乳幼児期以降、大人になるまでの施策として、児童手当やこどもの死因究明(Child Death Review)を含むこどもの安全に関わること、虐待やヤングケアラーといった困難な状況にあるこどもの支援などがあります。

また、学齢期以降の施策としてこどもの居場所確保などが所管されることとなります。こども家庭センターや、子育て世代包括支援センターなども行う伴走型の相談・経済的支援は一例ですが、成育の各過程で伴走しな

ら政策を実施することが、同庁には求められます。また、自民党「こども・若者」輝く未来創造本部の提言を受けて、三月末には政府の次元の異なる少子化対策が示され、児童手当の拡充、所得制限の撤廃なども示されました。

出産については「出産費用(正常分娩)の保険適用の導入を含め出産に関する支援等の在り方について検討を行う」と記載されており、重要なことは、保護者の負担をなくすことであり、有床診療所が国内の多くの出産を支えている現状において、産科医療機関の経営の安定については維持していくという政治の意思が変わることはまったくなく、むしろ二〇二四年の医師の働き方改革と相まって、よりいっそうの支援が必要となるとは言うまでもありません。

学校給食費のあり方や、小児医療費のあり方、出産費用のあり方などは、別途、文科省や厚労省の然るべき会議体で時間をかけて議論していくことになろうかと思いますが、今後は六月の政府の骨太方針に記すべく、より具体的に財源を含めた

議論が各政党内、そして政府内でも展開されることになりま

す。こども家庭庁が、同庁のスローガンである「こどもまんなか」の社会を実現し、期待される役割を真に発揮できるように今後

5月8日以降の診療報酬について

五月八日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されることに伴い、新型コロナウイルスの診療報酬特例の見直しが行われることとなりました。

三月十日には、各都道府県等の調整本部を通じた入院調整から医療機関間の調整を基本とする仕組みに移行するため、コ

ロナ患者に対して入院調整を行った場合に九百五十点、また外来においてコロナ患者に対し家庭内の感染防止策等の療養上の指導を行った場合には百四十七点、在宅診療については、介護医療院等または介護老人福祉施設等で看護職員とともに施設入所者に対してオンライン診療を行った場合に九百五十点、入院については、今まで三倍だったICU等の入院料が一・五倍になり、救急医療管理加算が四・六倍だったものが、二・三倍となること公表されました。

さらに、三月三十一日に示された厚労省の事務連絡では、ご要望の多かったコロナの検査については、小児科外来診療料、地域包括診療料、認知症地域包

括診療料、小児かかりつけ診療料、生活習慣病管理料、手術前医学管理料、または、在宅がん医療総合診療料を算定する場合には、包括ではなく、別途算定できることも示されました。

院内感染の発生により一時的に患者を受け入れられなくなった医療機関(みなし重点医療機関)に対する支援については、人的な取扱いも含めて、追って示されるQ&A等において要件等が明確化されるよう働きかけを継続しております。ポストコロナになっても、我々医療現場の対応は変わりません。五月八日以降も国民医療を支えらるべく、先生方のお役に立てるよう頑張っております。



3月3日 菅義偉前内閣総理大臣がラジオ出演してくださいました。(ニッポン放送「すくすく育て 子どもの未来健康プロジェクト」毎週日曜6:04~6:13)



4月2日 「学校保健講習会」にて講演。渡辺弘司日本医師会常任理事、松村誠日本医師会学校保健委員会委員長と



4月3日 「こども家庭庁」発足式にて。岸田文雄内閣総理大臣、小倉将信内閣府特命担当大臣、和田義明内閣府副大臣らと参加

幼稚園教育要領と保育所保育指針が今後共同告示されること、重大ないじめ案件や自殺や事故等もこども家庭庁と文部科学省との共同になることから、役所は主として厚労省、文科省、内閣府、総務省、その他基礎



3月29日 「難聴対策推進議員連盟」第17回総会を上川陽子会長、大塚拓幹理事長らと開催。高齢者難聴について新潟県、山形市、東京都港区からヒアリング



3月13日 超党派「成育基本法推進議員連盟」野田聖子会長らと加藤勝信厚生労働大臣に要望へ



3月13日 「ワンヘルス推進議員連盟」設立総会へ(林芳正衆議院議員、麻生太郎衆議院議員、武見敬三参議院議員、松山政司参議院議員、古賀篤衆議院議員)。藏内勇夫日本獣医師会会長、松本吉郎日本医師会会長、横倉義武日本医師会名誉会長らご臨席



3月13日 介護福祉関連団体とともに萩生田光一自民党政務調査会長へ物価高騰対策を要望

羽生田先生からのご寄稿いただきました

厚生労働副大臣
参議院議員

羽生田 たかし 活動報告



平素より私の政治活動にご理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

去る三月二十五日に、議員として四年ぶり、厚生労働副大臣としては初めてになりますセミナーを開催させていただきました。後援会長であります松本吉郎日本医師連盟委員長はもとより、加藤勝信厚生労働大臣にもご講演を賜わり、大変貴重な講話をいただきました。これも医師会活動として

長きにわたり、皆さま方のご支援をいただいている賜物と存じます。あらためて感謝申し上げます。

さて、現在国会では「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案（令和五年二月十日提出）」が衆議院で議論され、このあと、参議院へ送られて参ります。この法案は十一本の束ね法案であり、そのなかには、日本医師会代議

員会でも質問の多かった「かかりつけ医機能」に関する法案もあります。私は現在政府の一員でありますので、政府提出案のとおり、かかりつけ医は患者が選ぶものであり、選ぶための情報提供として、かかりつけ医機能を報告する制度整備であり、決して登録制につながるものではないとの方向性をもって成立を目指しております。

参議院の委員会質疑は、厚生労働委員会に所属する星北斗参議院議員や藤井一博参議院議員にお任せし、私は政府の一員として真摯に答弁に努めて参ります。とはいえ、全国の先生方から多くのお声をいただいている

ことも事実でございます。この法案が医療現場で患者と向き合っておられます先生方の意にそうものとなるよう、しっかりと省内での取りまとめをはかって参ります。

また、今後は骨太の方針や診療報酬をはじめとする来年のトリプル改定の議論が加速して参ります。骨太の方針ではナース・プラクティショナーの問題や財政規律の健全化のためだけの、削減ありきの緊縮、効率化といった財政論に押されてくること想定されます。当然、変えていくべきところもあります。この社会保障は国民の生命と健康に直結しており、守るべき部分が多くあります。しっかりと声を上げ、地域医療

を守っていただいている皆さま方の代弁者として取り組んで参ります。

最後になります。全国で統一地方選挙と国政の補欠選挙が行われました。それぞれの地域の先生方がその地域の議員に對し、しっかりとした支援をしていただき、そして関係を構築いただいたことは、医政活動を深めるうえで大変重要なことであり、地域で医政を理解いただき、共に地域医療を考えていただける方がいる、そのことは

大きな力になります。ぜひ皆さま方には積極的に地方議員の先生方にも関わっていただくことを切にお願い申し上げます。

今後ともご指導とご鞭撻のほどございまして、誠にありがとうございます。

参議院の委員会は、厚生労働委員会に所属する星北斗参議院議員や藤井一博参議院議員にお任せし、私は政府の一員として真摯に答弁に努めて参ります。とはいえ、全国の先生方から多くのお声をいただいている

ことも事実でございます。この法案が医療現場で患者と向き合っておられます先生方の意にそうものとなるよう、しっかりと省内での取りまとめをはかって参ります。



松本吉郎日本医師会長、富山県医師会馬瀬大助会長と種部恭子先生事務所開き訪問



セミナーを開催いたしました。ありがとうございました



神奈川県医師会にて「医師の働き方改革」についての講演



横倉義武先生お祝い会にてご夫妻と



長崎県医師会森崎正幸会長と虎島泰洋先生



大分県医師会河野幸治会長と